

4. 水産情報発信事業

石原 幸雄

目的

本県沖合域の水温状況や漁獲れる魚の資源状況及び試験研究成果を水産関係者等にわかりやすく大型ポスターなどにより情報提供を行う。

方法

(1) 大型ポスター

海洋観測結果、試験研究成果、各種お知らせについて、漁業協同組合及び県関係施設に大型ポスターを掲示した。また、境港水産祭りで業務紹介や試験研究成果の大型ポスター展示を行った。

(2) ファクシミリ及びホームページ

水揚げ情報、人工衛星画像、試験操業情報、漁況情報等をファクシミリおよびホームページ等で情報提供した。

(3) 電話応答サービス

ケンサキイカ及の他県の漁模様及びスルメイカの水揚げ状況を電話で案内した。

(4) 連絡会議、報告会等

海況及び浮魚類、底魚類、イカ類の漁況並びに今後の動向について境港漁海況連絡会議を年2回(11月、3月)、に開催した。マアジ及びクロマグロの資源状況等について7月に報告会を行なった。沿岸イカ類の漁況及び今後の動向について3月に漁業協同組合での説明会を実施した。

(5) レポート

1年間の海洋環境、水産資源、試験研究結果をわかりやすくした「海洋環境・水産資源レポート」を作成した。

結果

(1) 大型ポスター

県内漁協(支所)21カ所、山陰海岸自然科学館1カ所、鳥取県庁2カ所、海友館1カ所、賀露かっこ館1ヶ所、西部総合事務所(西部県民局)1ヶ所、夢みなとタワー1ヶ所、水産試験場(沖合・沿岸漁業部)2ヶ所、境港水産物直売センター1カ所、境港水産物地方卸売市場3カ所に海況情報等を月1回掲示した。

また、10月11日開催の境港水産祭りでは、試

験船第一鳥取丸の体験乗船及び水産試験場の役割や境港の沖合漁業概要について展示した。

(2) ファクシミリ及びホームページ

境港におけるまき網及びスルメイカの水揚げ情報、栽培漁業センター取水口における水温、隠岐島定期フェリーによるXBT観測については、旬ごとに県内漁協、各県水試、新聞社、水産研究所等91カ所にファクシミリで配布した。海洋観測結果、調査船調査速報、境港の漁獲量や市場の写真、水温衛星画像についてはホームページ<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=72009>に更新するとともに、適時水産関係者等にファクシミリ文書を送信した。

(3) 電話応答サービス

ケンサキイカの長崎県・兵庫県の漁模様及びスルメイカの水揚げ状況について電話応答案内サービス(週2回更新)を行った。電話0859-45-4505

(4) 連絡会議、報告会等

11月24日及び3月25日にまき網、イカ釣、沖合底びき網、ベニズワイかにかご漁業を対象とした境港地区漁海況連絡会議を開催した。

7月29日にマアジ新規加入量およびクロマグロの資源状況について報告会を開催した。

また、沿岸イカ釣りの今後の見通しについて3月26日に鳥取県漁協網代港支所及び田後漁協において説明会を開催した。

(5) レポート

平成21年の海と水産資源の状況や水産試験場の一年間の試験研究結果をわかりやすくした「海洋環境・水産資源レポート」を平成22年6月に作成し、ホームページに掲載するとともに水産関係機関等に配布した。